

「みなとまち新潟」魅力向上助成事業 助成金交付決定事業一覧

※ 申請書に基づく事業概要(予定)を実施期間(予定)順に掲載

NO	事業名	事業者/実施者	事業内容	事業効果	実施期間	
					開始	終了
1	古町花街の町並み保全	新潟まち遺産の会	<p>○目的 古町花街は全国でも稀少な歴史的建築が残る湊町新潟の歴史を物語る地域である。新潟開港150周年を記念し、古町花街の町並みの価値を磨き、その歴史・文化の情報を発信する事業を行うことで、「みなとまち新潟」の歴史的風致の保全並びにブランドの創造を図る。</p> <p>○内容 ・企画内容 かつて作成した花街マップを土台に、地元の協力を得て内容を刷新し新たに英語説明を加えたマップとする。加えて、歴史・文化を活かしたまちづくり手法を考えるシンポジウムを開催する。</p>	古町花街マップの作成及びシンポジウムの開催により、古町花街の価値や魅力が発信されるとともに、「みなとまち新潟」の歴史的風致や伝統文化の保全・活用が促進され、古町活性化につながる。	4月1日	9月30日
2	湊まち新潟歴史ウォーク	特定非営利活動法人 新潟みなとクラブ	<p>1. 事業の目的 新潟開港150周年を契機として、多くの市民に湊まちの歴史や現状にふれて貰い、それを通じて新潟港や将来の湊まちのあり方を考えるきっかけにし、合わせて新潟港の発展や湊まち新潟のまちづくりに役立てることを目的とする。</p> <p>2. 事業の内容 一般市民40人を対象に新潟市の湊の歴史のゆかりのあるコースを月一回計6回にわたり、見学及び散策をして認識を深める。また、そのまとめとして最終回に朱鷺メッセ展望室で意見交換及び終了式を行う。</p>	「湊まち新潟歴史ウォーク」は新潟みなとクラブと有志の市民メンバー等で実行委員会を組織し、今年で12年目を迎えた。毎年の参加者は約40名を数え、これまで500名近くの方々と単なる街歩きに終わることなく、新潟港と湊まち新潟のあり方を考え、一緒に夢や希望を語りながらこの11年を歩いてきた。この湊まち新潟歴史ウォークを通じて、湊まちの歴史や文化を学習・継承し、少なからず地域の活性化につなげるとともに、新潟港と湊まち新潟の更なる発展に寄与する。	4月1日	11月30日
3	オープントップ“宙soraバス”(仮称)による「みなとまち新潟」周遊バスの運行	(株)ケー・オー・ケー・ケー ケープ ハミングツアー	<p>○目的 新潟開港150周年に合わせて、日本海側初となる「みなとまち新潟」を走る「オープントップバス」運行を計画した。県外の観光客、訪日外国人客の他、地元のお客様にも全く新しい視点から「新潟の魅力」を発見してもらうことを目的とする。</p> <p>○内容 ・企画内容 「みなとまち新潟ショーとトリップ(仮称)」週末の午前中、市内の主要な見所を巡る。</p>	<p>日本海側初となるオープントップバスを運行させることで、内外から新潟への注目度を高め、新潟へ降り立つお客様への新しい観光ツールとして訴求し定着を図る。</p> <p>残念ながら定期観光バスが走っていない新潟市において、手軽、かつリーズナブルな二次交通手段を提供することによって、新潟に滞在する観光客へのサービス向上につながる。</p> <p>新潟の主要な見所を回りながら、お客様に「みなとまち新潟」の歴史・文化を案内し、新潟の魅力向上・文化の保全につなげていく。</p> <p>今後、食事付きや各種体験を組み込んだコースを計画しており、引き続き通年運行を模索し、みなとまち新潟の観光の発展につなげていく計画である。</p>	4月1日	12月31日

「みなとまち新潟」魅力向上助成事業 助成金交付決定事業一覧

※ 申請書に基づく事業概要(予定)を実施期間(予定)順に掲載

NO	事業名	事業者/実施者	事業内容	事業効果	実施期間	
					開始	終了
4	開港150周年記念 にいがた湊から新潟港へ、舟運の歴史探索	リバークルーズ愛好会	<p>・一般市民に、かつては、信濃川の上流の湊から、地域の産物を船で運んでいた舟運の歴史を紹介し、船上から風景を眺めながら、生産者や調理人の話を聞きながら、美味しい物に恵まれていることを実感してもらうことを目的とする。</p> <p>・現在の新潟西港が浚渫作業なくしては、港としての機能を果たせないことを、主に小学生に船上から間近に作業風景を見学してもらい、川港であること、港を守るために様々な人の力が働いていることを紹介し、学んでもらうことを通して、ふるさと新潟の特徴を知ってもらう事を目的とする。</p>	<p>・ガストロノミーに関連し、地域の食材の紹介と、信濃川によってもたらされた恩恵を知ってもらい、新潟の歴史を振り返りながら、湊町として発展してきたことを認知してもらえる。</p> <p>・小学生が浚渫作業を見学することで、夏休みの自由研究として興味を持ってもらい、地元の身近なところから、歴史を学びまちづくりにも興味を拡大でき、ふるさと新潟に愛着を持ってもらえる。</p>	5月1日	12月30日
5	新潟開港150周年企画 「日本海デイクルーズ」	新日本海フェリー株式会社 新潟支店	<p>○目的 新潟開港150周年を記念したイベントとして実施することにより、新潟港の振興に寄与するとともに体験乗船を通じて、新潟県民に広く海に親しんでもらう。</p> <p>○内容(概略) 日時:2019年5月2日(木) 15:10出港 18:00帰港 乗下船場所:新日本海フェリー新潟港フェリーターミナル 使用船舶:「らいらつく」18,229トン 新潟港外日本海をクルージング 募集定員:500名程度 乗船運賃:大人¥3,000- 小学生¥1,500- ※募集定員、運賃等は、今後詳細を検討し変更の可能性有</p>	一般市民に海上からの「みなとまち新潟」を体感してもらうことにより、船や港に関心をもってもらい、よって北海道を結ぶ定期航路発着港としての「みなとまち新潟」のブランドの創造及び魅力の向上を図る。	5月2日	5月2日
6	みなとまち新潟魅力発見 ウォータークルーズ&街歩き	株式会社新潟放送 (BSN)	<p>○目的 広く県民に「みなとまち新潟」の魅力进行訴求し、観光等の集客につなげることを目的に、信濃川のウォータークルージングとまち歩きツアーをセットで実施する。さらに、BSNラジオを活用してツアーの情報、体験記等を県内、及び全国に放送することで、みなとまち新潟の魅力を広く、立体的に訴求する。</p> <p>○内容 古くから湊町として栄えてきた新潟市の風情を今も色濃く残す下町地域をめぐる町あるきツアーを実施。信濃川左岸河口付近から下町地域の観光資源を巡りながら歩く。</p>	参加を促すため、地域やツアーの魅力进行BSNラジオで事前に告知する。さらに、イベント実施後にBSNラジオでツアーの様子をレポートする。ホームページも制作し、立体的に魅力を訴求する。	6月24日	10月6日

「みなとまち新潟」魅力向上助成事業 助成金交付決定事業一覧

※ 申請書に基づく事業概要(予定)を実施期間(予定)順に掲載

NO	事業名	事業者/実施者	事業内容	事業効果	実施期間	
					開始	終了
7	一般社団法人新潟青年会議所 65周年記念事業～PEACE BANK～	一般社団法人 新潟青年会議所	新潟を代表する景観地域である信濃川萬代橋エリアを活用した「特別事業」を企画いたしました。かつて街中に堀が張り巡らされ、水運によって栄華を極めた新潟。その忘れられようとしている「水の都・新潟」の姿を現代に甦らせ、新潟市の新たな可能性、リブランディングを行いたいと考えます。「お祭り要素の高いイベント性」「雄大な信濃川を使う地域性」「これまでにない新規性」「JCらしい公共性」そして、「アレンジメント要素の高い未来性」すべてを兼ね備えた事業となります。 花火の打ち上げなどに使われる舂(はしけ)を水上に設置し、植物アート作家より「光」をテーマに舞台装飾を施します。やすらぎ提の芝生にもライトボールや装飾などを設置し「光」の演出を行います。その幻想的な雰囲気の中、有名アーティストによる音楽ライブを舂(はしけ)上にて行います。	①やすらぎ提ミズベリングエリアで舂を利用してコンサート、イベントを行うことで水の都・新潟の姿を現代に甦らせ、新潟市の新たな可能性を見出す効果が期待できます。 ②既存のミズベリングと協働することで、さらに水辺エリアの活用を見出す効果が期待できます。 ③新潟市のあらたなコンテンツとして、また、事業のアレンジメントが容易く、次年度以降もにぎわいづくりを創出できる可能性があります(主幹は新潟青年会議所に限りません) ④観光客の誘致も含め、県内外に開港150周年のPRをすることが可能です。	8月24日	8月24日
8	古き良き新潟に触れる 「おもてなしの心」醸成事業	新潟市ハイヤータクシー協会	1 観光研修 (1)新潟芸妓による「おもてなしの心」「おもてなしの方法」等の伝授と踊りの鑑賞を通じた古き良き新潟の体験 (2)古町等地区のシティガイド等の案内による古町等の歴史的施設等を訪ね説明を受けることによる古き良き新潟の再発見 2 外国語研修 中国語(繁体字)の指差確認シートの作成とその使用方法と中国(台湾)からのお客様の対応についての勉強	これまで新潟市ハイヤータクシー協会では座学により観光等の研修を行ってきたが、新潟の芸妓のおもてなしの心、心使い、歴史的施設等に直接触れることによりタクシー運転者としてのおもてなしの心の醸成が図れる。また、外国語(中国語)の研修を行い外国人対応力の強化が図れる。	10月1日	11月30日